

第6回国際成人教育会議（CONFINTEA ）のための国内「草の根会議」 運営委員会（第1回）議事録

開催日時 2008年12月3日（月）午後7時半～9時半
開催場所 法政大学（市ヶ谷）80年館 丸会議室

参加団体：

呼びかけ団体

社全協（荒井）

日本社会教育学会（常葉 - 布施、前平、野元、除村）

シャンテ国際ボランティア会〔SAV〕（三宅）

教育協力 NGO ネットワーク〔JUNNE〕（小荒井、三宅）

『月刊社会教育』（荒井）

開発教育協会（三宅）

その他

福田

配布資料：運営委員会議題紙 進行：荒井、議事録案作成：三宅
議題

1 市民社会組織（CSO）レポートについて

(1) 各団体での検討の状況

・社会教育推進全国協議会（社全協）

毎年、集会時にまとめている基調提案、集会の各分科会で取り上げてきた実践、発行してきた資料集、『社会教育研究』『住民の学習と資料』、「ブックレット」No.1～3、総会時の議案書、時々に出してきたアピ - ルなどをもとに、10 数年を振り返り、成果と課題を総括してレポートに生かしたい。社会教育推進運動の総括になると思う。法制度分析・実践の収集・分析で広く問題提起できると思う。

・『月刊社会教育』

編集委員会ではまだ未検討だが、「社会教育分野の雑誌としてどのような役割をこの10年果たしてきたのか、その総括的な報告を簡潔にまとめてもらいたいと考えている。

・日本社会教育学会

政府レポートに入っていないことを中心に項目案を出しあった。どのように執筆するかはまだ。

・教育協力 NGO ネットワーク

成人教育分野の国際協力（ODA および NGO）の現状と課題について執筆することが合意されている。ソウルの会合のフォローアップとして、ユネスコバンコク事務所の大安さんが東京に来られた際、JICA に本会議に参加いただくようお願いに行っていた。

・開発教育協会

社会教育、NGO による開発教育、持続可能な開発のための教育について執筆することが合意されている。

(2) 構成案・項目案のまとめ方・提案の仕方

各団体で書きたい項目ごとに1枚ずつレジメにまとめ、1月に開催する第3回草の根会議で発表しあい、共通の視点、共通の執筆項目、章立て、執筆団体・者を定めることが合意された。

出された意見として、法律、政策、予算、人材については共通の執筆項目とする、法制度については全体的にまとめる章をつくる、課題についての項目には実践を入れる。

(3) 今後のスケジュール

- ・ 2月末には日本語版の完成、3月末英語版完成。
- ・ 3月に市民レポートの発表会を一般向けに開く予定。
- ・ 文部科学省とのナショナルレポートについての意見交換会の際、日本代表団の構成に市民団体代表、外務/JICAの代表を入れるようお願いすることなど本会合への日本政府の対処方針についても意見を伝える。

(4) 経費負担

- ・ 印刷費、英訳チェックのために費用がかかるので要検討。

2 呼びかけ団体について

- ・ 現状のまま、各団体から参加を呼びかけていただく方法で、参加団体を募る。

3 次回第3回「草の根会議」

(1) 日時・会場

1月15、21、22日のいずれかの午後6時からで調整し、会場とともに後日、荒井さんから連絡いただく。

会場を確保できました。以下のように開催します。(荒井)

1月21日(水)午後6時～9時、法政大学市ヶ谷キャンパス 80年館7階丸会議室

(2) 運営 - 役割分担

司会・運営・議題準備 荒井

記録 小荒井

以上